



ひょうごローズクラブ  
Hyogo Rose Club

# Scent of Roses

バラの香り

<http://www.rosehyogo.jp>

ひょうごローズクラブ活動報告

奥深いバラの世界

バラにまつわる話

ひょうごのバラ園

連載「世界の文献に見るバラの話」

第2号  
2008.1

# ひょうごローズクラブ活動報告

## ひょうごローズクラブ設立総会・記念講演会

平成19年6月3日(日)に、兵庫県公館で、設立総会と記念講演会を開催しました。当日は、会員はじめバラ生産農家や愛好家ら約350名が集まりクラブの設立を祝いました。総会は、花をテーマにしたテノール・ピアノミニコンサートで始まり、規約、役員、事業計画などが提案され承認されました。会長に設立発起人代表の植村武雄氏、理事長に山中寛氏が就任されました。



記念講演会では、フランス調香師協会会員の森田洋子さんが「バラは、色や形だけでなく、香りは鎮静効果等人の健康にも良い」と、バラを使ったジャムや砂糖菓子等の料理法を紹介。続いて当クラブ理事でもあるアサミローズ



夏の演出がされ、兵庫県内のバラ園の紹介や県内で生産されている色とりどりの切り花用バラ約50品種が展示され来場者を魅了しました。

### 夏季剪定講習会

8月26日(日)に、播磨中央公園との共催による剪定講習会を開催しました。講師は、当クラブの理事でもある確実園本園の前野義博さんで盛夏にもかかわらず、102名の参加があり、午前午後の2回に分けて実施するほど盛況でした。

参加者は、前野理事の指導を受けながら、秋バラを美しく咲かせるコツを学びました。

セレクションの浅見均さんが切り花用赤バラのトップローズ、ロイテローゼの育成の経緯や「バラは三分咲き、五分咲きと変化する動きが魅力と」話しました。会場は、森田洋子さんによるバラの

## 姫路ばら園、RSKバラ園視察研修会

11月4日(日)に、68名が参加しバラ園視察研修会を開催しました。姫路ばら園では、バラ園代表で当クラブ理事の上野昭子さんからバラ園の説明いただき、美しく管理されたバラを鑑賞しました。



その後訪問した岡山市のRSKバラ園では、技術担当者の御案内をいただきながら約400品種、15000株のバラの植栽されている30000㎡の園内を見学しました。参加者は、担当者と栽培技術に関して様々な意見交換を行い非常に有意義な視察研修会となりました。



# Contents

- 1 ひょうごローズクラブ活動報告
- 2 奥深いバラの世界
- 3 バラにまつわる話
- 4 ひょうごのバラ園
- 5 世界の文献にみるバラの話
- 6 バラの思い出
- 7 会員のページ



表紙バラ ジュビレ デュ プリンス ドゥ モナコ(明石公園バラ園にて)

日本を代表するバラの育種家で、ひょうごローズクラブ理事のイタミ・ローズ・ガーデン代表の寺西菊雄さんを訪ねました。

# 奥深いバラの世界

その2

最寄り駅の阪急新伊丹駅前には「ローズスレー梅ノ木」というバラ園があり、イタミ・ローズ・ガーデンの前の道路にも道沿いにバラが植栽されていました。寺西さんは、これらのバラ園の造成時には、バラの苗を供給されたとのこと。

## 寺西さんがつくられたバラの品種

寺西さんは、50年にわたりバラの育種家として100種近くの品種を作っただけで、色、良く咲くこと、香りなどにこだわることです。寺西さんにお気に入りのバラの品種についてお聞きしました。

### 天津乙女

寺西さんの第1号、26歳の時の作品で、バラ育種家としての寺西さんの名前を広めた。海外でも高く評価されている黄色の大輪種で、1960年の作。宝塚歌劇団のスターの名前が付けられた黄色いバラです。

### マダム・ヴィオレ

薄紫色の切り花に適した1981年作のバラです。人気のある品種ですが、寺西さんは、青いバラの育種による創出を目指しています。



### ニュー・ウエーブ

薄紫ピンクのウエーブする2000年の作品で、寺西さんが「独特の咲き方をする。」とおっしゃるユニークなバラです。

### ローズ・オオサカ

真っ赤なバラ。昨年開催された「世界バラ会議大阪大会2006」のシンボルローズ。別名マイ・レイコ。奥様の名前を付けたバラです。

## バラの育て方の基本

長年にわたるバラの育種経験に基づいたこだわりのバラの育て方についてお聞きしました。基本に忠実に育て方が大切とのこと。

### (1) 施肥について

植栽後1年目は良いが、それ以降は肥料が不足していることが多い。まず寒肥をやる。4月～5月に肥料をやり過ぎると、きれいな花が咲かない。6月～8月にかけては月に1度バラ用の肥料をやる。春も秋も花が終わるとお礼肥。バラは、しよちゅう花を咲かせるので、肥料が多くなる。

### (2) 消毒について

1種類の殺菌剤をずっと使うと効かなくなるため、3種類程度の殺菌剤を用意し、1つの殺菌剤を3回使ったら次に他の殺菌剤を3回使う。このようにして、3種類位の殺菌剤を順番に使うようにすると殺菌剤の効き目が持続する。また、ウドンコ病や黒星病の殺

菌剤に混ぜて、害虫に抵抗性がつかないニームオイルをペーリスにした忌避剤を7日～10日に1度施用すれば、忌避効果により害虫が寄りにくくなるため、殺菌剤を使う回数が減り、栽培者の健康のためにも良い結果をもたらすことになる。

なお、薬剤を散布する際、使用説明書の指示よりも薄め(例えば1000倍で使用する指示がある場合に1200～1300倍に薄める。)にし、その分散布量を増やすようにした方が消毒の効果があがる。

### (3) 剪定について

秋の剪定は、8月25日～9月10日までに行う。バラは剪定後40日～50日花が咲くので、適期に剪定しなければ10月の良い時期に花が咲かない。ツルバラは、長く伸びた枝を折れないようにまっすぐにくりつけておくだけで良く、冬に全部ほいて、いらぬ枝を剪定して誘引する。

冬の剪定は1月半ば～2月の間に行う。古い枝を切り、新しい枝を主とした仕立て方とする。古い枝を残すと芽が出てきても花が咲かない。背を高く仕立てると、花が高いところばかりに咲くので、低く剪定することも大切である。

寺西さんによると、今年はいつまでもバラが咲いており、虫も多く、冬を越す虫も出てくるかも知れない、とのこと。こんなところにも、地球温暖化の影響が出ているのかも知れません。

イタミ・ローズ・ガーデンの美しく立派なパンフレットに掲載されているバラの写真は、すべて寺西さんが自ら写したものだそうです。バラの写真は、花が開ききらない形が良いうちに写すのがポイントだそうです。多くの面でこだわりを持ちつつバラの育種をなさっている寺西さんらしい、パンフレットだと感じました。

寺西 菊雄 たらにし きくお

1934年(昭和9年)兵庫県生まれ。天津乙女など多数の優良品種を作出した世界的なバラの育種家。2007年に国営越後丘陵公園(新潟県長岡市)で開催された第1回国際香りのばら新品種コンクールにおいて「フラグラント・ヒル(HT)」が金賞及び特別賞(国土交通大臣賞)を受賞。



# 香りの薔薇を求めて

薔薇の香りについて調べ始めたのは、28年前玉川高島屋のコミュニティクラブにあるポプリ教室に通い始めてからのことです。薔薇は、ポプリに欠かせない主材料であることから、専門書や薔薇にまつわるエッセイ、香りのよい種類などを調べ始め、そのうち本で見える薔薇だけでは満足できなくなり、英国の王立バラ協会が運営するセント・オルバンズのパラ園にも訪ねて行きました。種類の多さに圧倒され、香りの薔薇のボーダーくらいしか今では記憶に残っていません。もっとも印象に残っているのは、リージェン

香料用バラ ダマスクローズ (Rosa damascena)



バラの摘み取り (ブルガリアにて)

社でバラの溶剤抽出もしている香料用の薔薇も見えてみたいと思うようになり、今度はブルガリアのバルカン山脈の麓にある薔薇の谷や南フランスのグラースにあるローズ・ド・メイ (Rosa centifolia) の畑にも行って見ました。ブルガリアでは薔薇祭りに参加し、南フランスでは、シャラボ社でバラの溶剤抽出も

見学することができました。

これらの数々の体験は、私の講座で生の声として伝えることを可能にしています。とくに、農薬を使わないブルガリアのローズウオーターは、もう26年間も教材として安心して利用しています。数年前から日本でも薔薇に人気が集まり、化粧水や石けん作り、入浴剤、アロマミストにと大活躍しています。

ツ・パークにあるクイーン・メアリーガーデンの見事なまでの薔薇の花綵(はなづな)、ロンドン市内に存在する事自体がすばらしいと思えました。また、ケント州にあるシシングハースト・キャッスルガーデンの中の一画、ホワイトガーデンも感激でした。大きな傘のように生長した溢れんばかりの白いランブラー・ローズ、緑の葉とシルバリーフの調和が上品でセンスよく、白い花の存在感を見直したものでした。

アロマテラピーは、時折香水と勘違いされて説明に苦慮しますが、市販の香水は動植物とさらにケミカルのブレンド、アロマは天然植物そのものの香りです。芳香の質が全く異なります。ブルガリアローズのすっきりとしたナチュラルな香りが気に入っている私は、今年も二回オ



摘み取られた香料用バラ (ブルガリアにて)

山本淑子アロマセラピストスクール  
校長 山本 淑子

ーダーを出しましたが、温暖化の影響がこの4年来、バルカン山脈に降雪量が少なくなり、収穫した花の量は同じでも花弁に含まれている精油量が30%程度も減っているようで、ブルガリア産の薔薇の香料は今年も値上がりし続けています。モロッコ産やトルコ産も決して嫌いではありませんが、グッとくる濃厚さがちょっと私の鼻を遠ざけてしまします。そのうち、中国産やイラン産なども増えてくることでしょうか。薔薇の香りは至福作用。香りは何よりも心を満たしてくれます。

ひょうごのバラ園  
クローズアップ

# 荒牧バラ公園



ひょうごローズクラブ会報第2号の発行にあたり、荒牧バラ公園の紹介をさせていただきます。バラの魅力につきましては、会報第1号で当クラブ理事で姫路ばら園の上野昭子さんが、余すところなくお書きいただいておりますので、荒牧バラ公園のPRに専念させていただくことに致します。

荒牧バラ公園は、面積17,000m<sup>2</sup>でバラはHT系を中心に、F系、Cl系、Min系、Old系など約250種類10,000株のバラ園として平成4年4月29日に開園致しました。15年を経過して公園外周のセンペルセコイアやユリノキ、クスノキ、ケヤキ等が大木となり、一度園内にお入りになると、緑の樹木の向こうに遠く連なる長尾の山並みが、やっと望めるくらいよく育ちました。

この公園は、昭和58年より実施された荒牧土地区画整理事業で、近隣公園として用地が確保されました。公園を訪れる方から、「どうしてここにバラ公園が作られたのですか。」と良く尋ねられます。当時、私はこの荒牧土地区画整理事業の理事長として、その当時の伊丹市長と公園の計画について論議を重ねました。単なる都市公園では区画整理事業に協力していただいた皆さんに申し訳ない。伊丹市の北部で西側は天神川に隣接し、遠くに六甲連山が望め、北側には長尾の山並みが間近に迫るロケーションのなかで、魅力のある公園の計画をお願い致しました。荒牧は、長尾山に近いことから京阪神間でも比較的雨が降りやすく、また、天神川から採取された川砂が植木の挿し木や園芸土として重宝されたことから、植木産業として栄えてきました。話は横にそれてしまいましたが、園芸に多いにゆかりのある土地ゆえに、花や緑を基軸にした特色のある公園をお願いした結果、花の中の女王とも云うべき、バラの公園の誕生となった訳です。

バラ公園としての整備が進む中、フランスやドイツ、スイスの有名なバラ園、そして世界バラ会議の開催地、イギリスのベルファーストのバラ園も視察しました。広大なバラ園を目の当たりにして、公園計画やバラ栽培のヒントになるものはないかと必死で探したものです。現在、伊丹市公園緑化協会より荒牧バラ公園の維持管理を受託しておりますが、その時の美しい光景を浮かべながら、公園の管理業務に生かすように努力しております。



荒牧バラ公園正面



平和のモニュメント バラ花壇が目の前に180度展開する様は、誰もが驚

嘆の声を上げられ、それはまさしく、舞台と客席のような劇場空間を織り成しているようにも見えます。穏やかなスロープを上り詰め、高台から入り口を見下ろすと幾千の薔薇がパノラマのように一望でき、イタリアのシチリア地方タオルミーナの野外劇場にも見えるような気がしないでもありません。春バラは、毎年5月の2週目から6月いっぱい最高のシーズンを迎えますが、白壁とレンガ積みの擁壁が南欧の明るい雰囲気演出し、色とりどりのバラが園内一面に咲き競う様は、まるで絢爛豪華なタペストリーを敷きつめたように思います。まだ一度も来園されておられない方は、是非、次の春バラのシーズンには、お越し下さい。そして、あなたの目で、一度お確かめいただければ幸甚に思います。

ひょうごローズクラブ理事長 山中 寛  
荒牧バラ公園管理株式会社社長

# 「バラと共に育てる植物」その1

ホルタス26・夏号 1993年 HORTUS No. 26 Summer 1993

ホルタス誌 (HORTUS) はイギリス・ウェールズで発行されている園芸季刊誌で、1987年の創刊以来、園芸誌として幅広い内容で、特に文化史の記事が多いのが特徴である。また、世界各地のガーデニングの様子が生き生きと報告されている。1993年のバラの特集号は興味深い内容が多岐に渡り掲載されている。その中の記事から2回にわたり『バラと共に育てる植物』(Companions for Roses Jane Taylor p.67-74) を要約して紹介する。今回はバラの足元を飾る植物の部分に関西地方で育て方についての私見を交えながら紹介する。

## 世界の文献にみるバラの話

### 冬も楽しめる常緑の低木や亜低木

バラの庭が家の中から見えなかったら、葉を落とした冬のバラ園の様子も問題にはならないだろう。もし室内から見えるようだったら、常緑の低木をある程度組み合わせた方がよい。それがカラーリーフで特徴のある形態の植物なら、夏になって開花期が終わった後でも映えて見えるであろう。生育旺盛なバラとの組み合わせなら、セージの紫色の品種は組み合わせが良いと思われる。灰色がかった小さな葉は、それぞれの植物と上手く調和する。ヘーベの園芸品種ミセスウインダー (Mrs. Winder) は夏の暗緑色、冬季のチョコレート色の色彩がとても良く、バラに似合う。

注：関西地方ではヘーベの仲間は高温多湿や寒さで傷む品種が多い。特に小型で毛羽立った葉の品種は育て難い。園芸品種ミッドサマービューティは特に育てやすい。

### シルバリーフ

多くのバラにはシルバリーフが組み合わせやすい。サントリナ、カレブプラント、ヘリクリサム、アリッサム・サキサチレなどは、それぞれの植物の個性的な色彩や質感で楽しませてくれる。特に原色の鮮やかなバラとの組み合わせは、花色の強さを和らげてくれる。

注：関西ではラベンダーもシルバリーフの植物として好まれる。日当たり、通風よく育てる事が大切である。

### マット状の縁取り

もう少し小型の縁取り用植物として、オリーブエチア、アラビスなどがよく用いられる。軟らかい感じの茎葉が周囲に伸び、必要ない部分を取り除くと整った形の縁取りとなる。

注：セラステウムも同様の扱いが可能である。これは夏に半日陰になるような場所では何年かは十分に草姿を美しく保つが、徒長すると葉が落ちた茎が目立ち見苦しい。

### レイズドベッドの草花

レイズドベッドに植えた灰色のノコギリソウは赤花のパティオローズ、トプシ ('Topsino') の足下に植えると良い。赤やピンクのバラには灰緑色の葉を持つダイアンサス類が良いだろう。白、ピンク、赤の花がバラに良く似合う。セダムの仲間もバラの下に植えられることが多い。コーカサスクリンソウ (Sedum spurius 'Atropurpureum')、白雪シセバヤ (Sedum spatulifolium 'Purpureum')、



ホルタス表紙



カンパニユラ・ガルガニカ

などを黄色のパティオローズの下によく植えるが、これは雑草抑えとしても有効である。カンパニユラの中にも組み合わせ育てたいものがある。カンパニユラ・ポシヤルスキアナ (Campanula poscharskyana)、ホンギキョウ (C. garganica)、オトメギキョウ (C. portenschlagiana) など。マット状に生育し、花時はこんもりと茂っている。フウロソウの仲間 Geranium cvs も似合う。

注：白雪シセバヤは高温多湿に弱い。

兵庫県立淡路景観園芸学校  
主任景観園芸専門員 能勢 健吉

バラほど世界中で人々に愛されてきた花はありません。バラは「肌と魂とによい」という古いことわざがあります。現代でも女性用化粧品の96%に、男性用化粧品の42%にバラ油が使われています。さて、バラの起源はとて古くアメリカのコロラド州で花を持つ植物(被子植物)としては世界最古の3500万年前の化石が見付かっています。このため米国の国花のひとつ(日本では菊と桜が挙げられるように)に挙げられています。バラの製品の中でも特にバラ水の歴史は古く、西暦前810年の記録に、ペルシャのファリスタン州は、三万壺ものばら水をバグダッドに納入するよう義務づけられていたとあります。シェイクスピアの『ジャジャ馬ならし』にもバラ水が登場するなど昔から愛用されてきたことが分かっています。

医療に利用するのは主にオールドローズです。古くからその効果は研究されてきました。例えば、花冠について、花の匂いが知らず知らずのうちに体に影響を及ぼすため、ギリシャの医師ムネシテオスとカリマコス(前3世紀)がどんなものが脳に有害かを研究しています。更にローマの植物学者プリニウス(紀元77年)は酒を飲んで陽気になっているときはこの影響がとくに強いと書いています。一番花冠に向いているのはやはりバラで、これは食べても良く、点眼にも使えるほど香りの刺激性も無く、そのため、マルス神の祭礼のときはバラ製の花冠が用いられたとの記述が見られます。また、古代ギリシャ人は宴会の際、頭にバラを飾りワインにバラを入れて飲んだそうです。これはバラが二日酔い防止に効果があることを知っていたからでしょう。

さてバラは剪定をしないと5年で寿命が終わりますが、これらを行うことにより再生する植物です。ギリシャではバラは再生、愛の象徴と考えられました。このことはギリシャ神話でバラが愛の女神アフロディティ(ローマ神話ではビーナス)が海から誕生したときに一緒に誕生したとされている事でも分かります。現在でも西洋ではバレンタインデーに赤いバラを贈ります。

プリニウスが当時、すでにバラが効果を発揮する32の病気を挙げています。それによりますと蕾は下痢や出血を止め、花は月経を軽くし、おりものをとり、液汁やバラ水は胃腸によく、催眠を誘う。種子は排尿促進や胃病に効き、また、粉にして歯の痛みに塗布する、バラ酒は心窩部の痛みによい、バラの木に出来るこぶ(虫瘤)は「はげの薬」になるなどすべてのバラの部分が生活用されていたことが伺えます。

アラブの医師アヴィセナは10世紀に世界で初めて冷却管を使用する蒸留装置を作り水抽出による体に害のないバラの精油を採りました。この事によって安心してバラ油が摂れるようになりました。また、この方法で作ったダマスクローズ(ブルガリアローズ)の精油で最初にコールドクリームを作り皮膚への治療を容易にしました。しかし、この方法での花からの精油抽出率は0.03%ほどで300gのローズ油を取るのに1トンの花びらがいる為、現代でも高価な精油です。精油を採った残りの水はバラ水として売られています。

アテネのアカデミア閉鎖で始まったヨーロッパの中世の暗黒時代には医学校の閉鎖が起こり、植物を中心とする医薬品の使用が禁止されました。その後14世紀頃まで植物を医療に利用することが制限されましたが、バラだけは使用されました。中世では香り豊かな赤レンガ色のローザ・ガリカ(Rosa gallica var. officinalis)は薬剤師のバラ(apothecary rose)と呼ばれ、水蒸留のバラ精油はオットーと呼ばれ治療に、またバラ水として菓子

や薬に、そして花びらは砂糖漬やジャムにして使われました。

中国では紀元470年ごろの中国の薬草書にバラ科の植物の Rosa laevigata(金桜子)が始めて登場し、明の時代の食物本草にはオールドローズが記されています。また、フランスの百科辞典(1751-1780年)には赤バラ(Rosa gallica)のバラ水は下痢・吐血に良い、白バラ(Rosa alba)のバラ水は身体を清涼にし、うつ病・脾病に良いと書かれています。この流れは英国ハーブ薬局方にRosa gallicaの赤い花びらが1930年代まで、緩和な収斂剤(下痢の薬)として、また賦香剤として収載されていたことでも分かります。

第2次世界大戦中は、英国では、医療目的に利用できるのはローザ・カニナ(dog rose: Rosa canina)しかなく、これの実で作ったローズヒップのシロップを子供たちに飲ませ、風邪の予防や治療に使用しました。ローズヒップのシロップにはビタミンCが豊富に含まれておりコップ一杯のお湯につき、細かくきざんだローズヒップを小さじ二杯半ほどを浸剤(沸騰したお湯に2・3分浸し、茶漉しでこしてのむ。)として使います。

さて、先ほど話題にしたバラ精油ですが、ほかの多くの精油(とくにカンキツ類の精油)とは違い、長年ねかせるほど質がよくなり、良いワインのように熟成します。そして、消化不良を治し健胃薬として食欲を改善し、消化器系全体を強化します。また、胆汁の生産を増大し、解毒能を高め、胆石、肝臓のうっ滞に効果があります。精油はせき、かぜ、気管支炎、さらには結核にも有効とされました。また、ダマスクローズは緩和な瀉下作用のために便秘の治療に利用されました。精油は高い血圧を低下させ、不整脈や動悸を治し、心臓と毛細血管とに全般的な強壮剤としても作用します。精油にはとても素晴らしい殺菌効果、抗炎症効果があるために、ちょっとした切り傷や単純疱疹、湿疹、とくにアレルギー性の発疹のようなさまざまなタイプの皮膚疾患の治療薬としてきわめて有効です。また、神経系を沈静させる効果があり、穏和な鎮静剤として、リラクゼーションを促し、睡眠を促進します。

バラ水やバラ茶も強力な抗菌作用をもち、下痢に良く、他に消化器では胆嚢障害、胃腸の潰瘍などに効果があります。特に、赤いバラの浸剤は下痢、吐きげ、吐血などの治療に使われました。循環器では高い血圧を下げ、心臓の不整脈を好転させます。呼吸器では気管支喘息に用います。精神には鎮静作用(痙縮と痙攣とを和らげる働き)を示します。

バラの持つホルモン作用としてはトルコ産の精油がブルガリア産のものよりも強力な催淫剤であるとされています。催淫剤としての効果はインドの薬局方にサンダルウッドとバラとを組み合わせることで効果を増強して使用すると記されている事でも分かります。そこで冷感症に悩む女性にとりわけバラ油が効果的です。また、バラ油は精子の生産量を増やすという報告もあります。不妊症や不感症の夫婦はバラ茶やバラ水を愉しむと良いでしょう。



日本東洋医学会 代議員・指導医  
ノザキクリニック院長  
ひょうごローズクラブ会員  
元日本アロマセラピー学会副会長

野崎 豊